

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立益田清風高等学校 事業実施報告書①

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 I ・ V 】
2 実施対象者	益田清風高等学校 陸上競技部 生徒16名 保護者 6名 教員 3名 萩原南・中山中学校 生徒10名 指導者 2名 地域指導者・関係者 8名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 (オリパラ招聘事業)
4 目標 (ねらい)	トップアスリートと共に活動することで、より身近な存在として感じさせ、スポーツ関心を高め、さらに高い競技力の向上を目指す。 また、地元の小中学生にも呼びかけて、「陸上競技」を地域の活性化につながるスポーツとして位置づける。
5 取組内容	オリンピックによる講演会及び実技講習会 (1) 日 時 平成30年1月12日(金) 18:30~20:00 (2) 講 師 高見澤安珠(松山大学4年) 2016年 リオデジャネイロオリンピック 陸上競技 3000m障害 出場 (3) 内 容 講演会 「夢をつかみとるために」 周りの人が難しい・無理だと言っていたオリンピック出場のための標準記録の突破にかけて取り組んだ挑戦の過程で「夢であったオリンピック出場は、いつしか目標」へと変わり、最終選考会で転倒しても諦めない「自分を信じぬく気持ち」が夢を現実に引き寄せたという経験を語ってくれた。





中学・高校と全国の舞台では陽の目を見る活躍がなかった高見澤選手は、その悔しさと自分にもまだできる！と思う信じる力を大学に入ってから競技につなげた。



そして3000m障害という新しい種目との出会いが人生を変えるきっかけとなった。小さなチャンスから人生は変わっていくもの。そしてそういうチャンスはどんな人にも平等にある。それに気づける人になることが大切なことだということを高見澤選手は伝えてくれた。謙虚で、しかし逆境をも力に変える前向きな高見澤選手を今後も応援していきたいと思う講演内容であった。

質問タイム 子供達からいろいろな質問が出ましたが、そのひとつひとつに高見澤選手が丁寧に回答してくださいました。



実技講習会 「筋膜リリースの活用によるコンディショニングの整え方」



	<p>じゃんけん大会 * 高見澤選手のご厚意で記念の品をGETした人も！ 写真・サイン会 *** 自分たちだけの特別な空間 ***</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>生徒の練習に対する目つき・顔つき・話を聞く態度がが大きく変わった。 オリンピック選手も自分たちと同様に、多くの悔しさを次なる力に変えて、自分を信じて突き進むことで道が切り拓かれていくことを感じた。 夢の舞台へ立つ為に、同じ環境・同じ練習内容でも自分の考えや工夫をすることで、自分の特別な力に変えられることも大きなヒントになった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>講習会に地元の小学生・中学生にも参加を呼びかけて高校生とともに活動することで、競技力の向上のみならず地域の活性化にもつながることを目的として企画した。 参加者が講師に対してできる限り身近な存在に感じるために、学校の朝練習に参加していただくことで交流を深めることができた。</p> 
<p>8主な課題等</p>	<p>講師の日程的都合によりこの時期しか行うことができなかったが、春や秋の気候のよい時期に実施したい。 また、インフルエンザの蔓延する時期なので、学校内にも広く積極的に呼びかけることをあえて避けた。 地域への広報の方法としては近隣小中学校と下呂市や高山市の中学校陸上競技部に広告配布のみにとどまった。できることなら、ポスターを貼ることで広く周知が可能となり、地域の話題にもつながると思う。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>今回の講演会及び実技指導を行っていただき、生徒にとって大変有意義な時間となったので、時期を考慮しながら来年度以降も検討していきたい。</p>